西予 せいよ

議会だより

2005年
6月
定例会
第5号
2005.7.20発行



大野ヶ原中心部とドリーネ　野村町

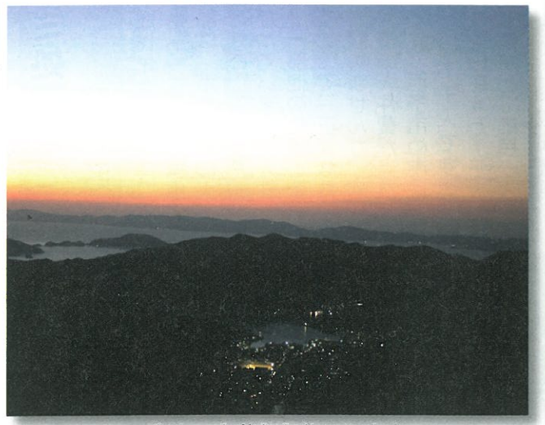
西予議会だより　第5号　http://www.city.seiyo.ehime.jp/gikai.html　E-mail gikai-chousa@city.seiyo.ehime.jp

Contents

特集 ゴミ処理はいま!? ⑭
6月定例会 ②
質疑・チャリティーレクバレー ⑤
委員会報告　所管事項調査 ⑥
6名の議員・市政を問う!! ⑧
リレー議員紹介 ⑬

発行／西予市議会　編集／議会だより編集委員会　発行責任者／兵頭　勇　〒797-0015 西予市宇和町卯之町三丁目434-1 TEL0894-62-6413

西予市の風景


三瓶町の夕暮れと佐田岬半島

わが町の取って置きのスポット


これ田んぼ？　城川町窪野・岩上田

まだまだあるぞ 地域に残る小さな行事

明浜町狩浜にある春日神社は、古い昔御神体が盗まれ、逃げる途中時化（しけ）に遭い海中へ。それを引き上げてくれたのが何を隠そう「タコ」。それ以来、狩浜地区の住民は決してタコを口にしなかったが、今では一部で受け継がれている。

タコの絵を神社の柱に貼り付け、縁の下の土をイボにつけると知らぬ間に取れるという。今でも脈々と続いている。


タコの絵


春日神社

写真コンクール募集要領

表紙等西予市議会だよりにふさわしい写真を募集します。ふるってご応募ください。審査のうえ、掲載。なお、作品は返却いたしませんので、ご了承ください。

表　紙：キャビネ判、600万画素以上
その他：L判、300万画素以上
応募先：議会事務局
応募規程：作品は、自作品未発表のもので平成17年6月以降に撮影されたもの
版権は編集委員会に帰属します
題名、氏名、年齢、住所、電話番号、撮影場所、撮影日、撮影機種を明記してください。
最優秀作品：各回1点、図書券進呈
締切：第一回　9／30
　　第二回　12／30
　　第三回　3／30

メール可
デジカメ可

がんばる編集委員からのお知らせ

議会だよりも発行1周年を迎え、委員も顔ぶれが変わりました。

来年まで新メンバーで編集を担当します。

市民の皆さんにも議会だよりに参加していただくため、写真コンクールを開催します。多数の作品の応募をお待ちしています。


メンバーが入れ替わりました

編集後記

6月定例議会ではたくさんの傍聴ありがとうございました。一般質問も大勢の傍聴者がいると元気が出ます。一人でも多くの方の傍聴を待っています。

今年は空梅雨で水不足になるかと心配していましたが、一転して雨が降り少し安心して議会だよりを編集することができました。

現在、市民の声や写真コンクールなどに取り組んでいますが、今後も少しでも多くの方に議会に関心を持っていただきたいので、新しいアイディアやコーナーなど議会だよりへのご意見、感想をお待ちしています。

（き）

編集委員
◎委員長　松山　清
○副委員長　鍵原　芳和
委員　田中　剛
宇都宮明宏
元親　孝志
亀井　秀男
浅野　忠昭
菊地ミスギ



6月16日から6月29日までの14日間の会期で、第2回定例会が開催されました。

今回の定例会の主な議案は、条例の制定1件、改正3件、廃止1件と予算関係では、一般会計補正予算他5特別会計補正予算、専決処分1件と繰越明許報告4件、市町村合併に伴う関係協議会・一部事務組合等の規約改正6件の22件と追加提案で契約関係3件の同意案件、計25件が理事者提出案件でした。また、議会内取り扱い案件では、請願1件、陳情2件でそれぞれ関係委員会に付託され審議を行いました。

なお、総務・厚生・産業建設の各委員会とも関係所管事項について市内の現地踏査を実施しました。

補正予算 主な事業

一般会計は総額261億9千万円。主な事業を紹介します。

職員研修費
345万9千円
職員の意識改革としべルアップを図るため、新採、初級、中級職員約200名の研修を実施するもの。

地域環境整備事業（集会所改築）
7千437万円
老朽化により、地域コミュニティー活動の拠点である下松葉（宇和）・緑が丘集会所（野村）の改築を行うもの。

介護相談員養成研修費
113万1千円
一般市民から5名程度「介護相談員」を養成し利用者の疑問や不満、不安の解消を図り介護サービスの質的な向上を図るもの。

在宅寝たきり老人等介護手当
千650万円
介護度四級・五級相当の寝たきり老人等の介護者に対し、月額2万5千円を支給するもの。今年度の支給対象予定者は155名を予定。（累計予算額は4千650万円）

人工透析患者通院交通費給付金
504万円
人工透析患者の経済的負担の軽減を図るため、旧町居住地以外への通院は月額1万円・旧町居住地内への通院は月額3千円を給付するもの。（累計予算額は834万円）

健康保養地構想事業
8千702万2千円
城川に建設中の健康保養地中核施設の外構・修景工事費・備品購入費・健康管理ソフト構築委託料・指定管理者への管理委託料、運営補助金等を計上するもの。

津布理農村公園等（三瓶）改修工事費
650万円
風雨で崩落した津布理農村公園及び地震で亀裂の三瓶南一ブロック制御室の地すべり対策工事費。

ムテンカジュース殺菌充填機設備設置工事費
3千485万7千円
明浜のふるさと創生館で生産している「ムテンカジュース」製造のための殺菌設備が老朽化（設置後26年経過）のため更新するもの。

間伐材出荷推進事業補助金
500万円
旧城川町での単独事業で間伐材出荷1㎥に対し千5百円の補助を行うもの。

県単独林内作業道整備事業費
千50万円
城川地域内において森林整備、間伐材搬出等の作業を容易にし、林業振興を図るため林内作業道を開設するもの。

風倒木処理委託料
427万5千円
昨年の台風災害による風倒木で16年度で対応できなかったものの処理を委託するもの。

漁港建設費
千730万円
高潮対策として三瓶漁港物揚場改良・二及漁港護岸改良・垣生漁港漁村再生交付金付帯工事を行うもの及び高山漁港ほか野積場舗装工事を行い漁港機能の向上と周辺地域の環境整備を行うもの。

シーカヤック購入費
250万円
明浜シーサイド・サンパーク交流施設にシーカヤック2人乗り10艇・1人乗り5艇を整備するもの。

乙亥の里
大相撲巡業に
3千万円補正



就任あいさつ

このたび図らずも皆様方の温かいご推挙によりまして、正副議長の要職に就くことになりました。私たちにとりまして、まことに身に余る光栄であり、感激にたえない次第でございます。もとより浅学非才でありまして、沖野前議長が提唱され た融和を基本に協調と誠実をもって全精力を傾注し、この大任を果たしたいと念願している次第であります。

合併2年目を迎えました西予市は、海あり、山あり、川あり、平野ありとすばらしい自然環境とそこから生まれるいろいろな恵みもたくさんあります。海抜0メートルから1400メートルまでの高低差と県下第2位の面積だけに、抱えている課題も幅広いものがございます。それだけに一つの方法や手段では全市を網羅した解決方法とはならないことも考えておかなければなりません。

また、次回の市議会議員選挙に向けた議員定数や選挙区の問題、行財政改革、庁舎建設など大きな課題が山積しておりますが、これらの課題解決のためには、西予市民4万7千人と市職員、さらに理事者、議会が結束してこの難局を乗り越えていかなければならないと考えています。

私たちは皆様方の温かいご理解とご支援をいただきながら、精一杯努める覚悟でございますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

議長　兵頭　勇
副議長　宇都宮二朗



兵頭議長と宇都宮副議長

合併記念事業大相撲巡業事業費
3千16万4千円
合併補助金を活用し、大相撲地方巡業を招致する経費。

県営事業負担金
5千万円
県営道路改良事業にかかる17年度上期の市の負担金、事業費の7％を計上するもの。

道路新設改良費
7千125万2千円
来年度施工予定路線の市道6路線・2橋梁の測量・設計の委託費及び市道今田中学校線上部橋梁工事、市道下高野子線舗装工事費を計上するもの。

住宅建設費
4千495万円
罹災した三瓶の市営住宅（長田団地）6戸の改築工事費を計上するもの。

消防施設整備費
275万4千円
渓筋分団・貝吹分団の小型動力ポンプを更新。

防災行政無線設計管理費
136万5千円
現行の市内各旧町の防災行政無線は周波数が異なっているが、2023年デジタル化に向け、市内1波とする必要があるため更新計画の設計管理を委託するもの。

衛星携帯電話設置費
112万4千円
災害時に孤立する恐れのある野村の大野ヶ原・惣川地区、城川の川津南・野井川地区に衛星携帯電話を設置し有事に際し通信手段の確保を図るもの。

渓筋小学校体育館雨漏り修繕工事費
338万3千円
渓筋小学校体育館の老朽化（S40年築）による雨漏り修繕工事を行うもの。

先哲記念館改修経費
千552万2千円
先哲記念館内部改修工事関係に係る経費の計上。

市営宇和プール取水ポンプ設置事業費
700万円
プール用水を確保するため取水ポンプを設置するもの。

農林水産施設災害復旧費
2千783万1千円
昨年の台風災害による農地・農業用施設・林業用施設の復旧工事費。

道路橋梁災害復旧費
6千203万6千円
昨年の台風災害による道路橋梁災害復旧工事費（野村地区50箇所）の計上。

市長 vs 議員
財政のここが知りたい
対策のそこが聞きたい

定例会では、上程された各議案に対して議場において、議案別に質疑が認められています。質問は1議案一人3回までとし、議員はそれぞれの視点で、理事者に対して質問をし、慎重に内容の審議を行います。

集会所立替 地元産材で

問 集会施設建設について地元資産材の積極的な活用をすべきではないか。

答 西予市の産業創造戦略会議の一つとして、地元産材の建築促進の要項を作っているが、集会所については、欠けていたので今後の検討課題として対応してまいります。


緑が丘集会所

予算書に誤字 大事に至らぬか

問 予算書に漢字の間違いがあるが、この小さなミスが大きな間違いに繋がらぬよう指導監督いただきたい。

答 一番肝心な予算書の中にミスがあったことを深く反省し、これが多くの、また大きな問題にならないよう、全職員に研修等を通じて市役所としてのチェック機能強化に全力を傾けてまいります。

乙亥の里 受け入れ万全か

問 大相撲巡業で2千500人の集客を見込んでいるが、今の座席状況や消防法の関係上、収容可能なのかどうか伺いたい。

2点目として館内での飲食とくにアルコールを伴っても良いかどうか。

3点目として入場料金の設定と完売への取り組み及び駐車場の確保はできるのか。

そしてこの事業による負担の大きい観光協会野村支部や相撲部会への補助は十分見込んでいるのかどうか。

答 集客人員は消防署と協議の結果、最大で2千300人とすることにしました。飲食については保健所に確認をとり問題はないという回答をいただきました。

入場料金については、たまり席1万円・ます席前8千円。あとは7千円・二階は前から6千円・5千円・4千円・立ち見席千500円です。

チケットの販売は、本庁・各総合支所・各町の商工会・スーパー・松山三越・高島屋・JA・文化会館・乙亥会館・愛媛新聞エリアサービス・近隣市の観光協会を考えています。

駐車場は、野村小で250台・野村中で300から400台の了解を得ており、運動公園や野村病院も考えています。

観光協会野村支部や相撲部会への配慮は、先ほど立ち上げた委員会の中で検討して対応したいと考えています。


下松葉集会所

大相撲巡業 補正見直しは

問 合併記念の大相撲巡業事業は、まだ不特定要素が多いが、必要とあらば次の議会で補正を組むこともあるのか。

答 今回の予算は準備を進めていく上での概算予算の面もあるので、内容が確定した段階での補正もあり得ます。

質疑

いま何故防災無線整備なのか

問 防災行政無線の設計監理費は、現在の施設がその耐用年数中にあり、まだ有効に活用すべきと考えるが、これは将来のデジタル化に備えての施設整備なのか。

また周波数が違うとどのような支障があるか伺いたい。

文化の里振興費の詳細説明を願いたい。

答 2023年までにデジタル化しなければならないという中で、そこに向けた周波数の統一を図っていく計画です。

工事請負費の987万円は、展示品の一部を希望の森に移すための先哲記念館の内部改修であり、社会福祉施設改修補助金は希望の森で受け入れるための改修にかかるものです。

出荷推進事業補助金を全市に

問 間伐材の出荷推進事業補助金500万は、旧城川町における事業だが、今回の補正で市内全域の事業となったのか、そうならば予算が少ないのではないか、間伐は国土保全には重要なのでさらに補正を組む予定はあるのか。

答 この事業は、旧城川町限定で行った山生き生き運動の一環であり今年度で終了するもので、前回の当初と併せて860万となりこれで対応しますが、全市的なことは財源を考慮した上での検討課題と考えています。

問 事業の主旨は、理解できたが西予市の森林環境を考えた場合には、この制度を全市に広げ残すべきでは。

答 山の荒廃は、国土保全の観点からも由々しき問題であり、県も森林環境税を導入したところなので、市独自では難しい面もあるが、国・県にも要望し検討したい。

国保会計があぶない

問 平成16年度国保会計に4億円の歳入不足が生じ、これを基金の取り崩しで対応し基金残が約1千万円だと思うが、平成17年も同様に4億円の欠損が見込まれる中で、その対処法として保険料の改正が必要だと考えるが、市民への周知徹底やそのための事務準備等を始めているか。又、将来を見据えての社会保障費抑制への対応策は。

答 前年度予算計上していた調整基金の繰り入れは、医療費の伸びが思うより少なく繰り入れの必要はなかったが、将来的には保険料の引き上げを視野に入れておく必要があるので、状況を見ながら住民に周知徹底を図っていきます。医療費の抑制は西予市の健康づくり「元気だ 西予」の計画を実践に移していきながら、城川に11月にオープンする健康保養地中核施設の活用にも力を入れていきたい。

問 現状は理解したが、将来の不足に対しては保険料の引き上げか一般会計からの繰り入れになるが、繰り入れについては職権の乱用と成らないよう社会保険加入者の心情や企業の実情を考慮し、より慎重な対応をもとめたい。

答 国民健康保険は、保険料引き上げの対応だけでは難しいという住民の実情を考えると一般会計からの繰り入れも視野にいれ、適切な保険料を検討していきたい。

チャリティレクバレーに参加







6月19日（日曜日）に三瓶町で行われました、三瓶町社会福祉協議会主催のレクバレー大会に、西予市議会として2チームを編成して参加しました。一日の対戦相手が時間割で決められていて、西予市議会は午前の部と午後の部に分かれて参加しました。45分間の得点で争われ、負けると1点につき30円をチャリティとして寄付をすることになっていました。

西予市議会は2試合で7千円寄付をさせていただきました。

市議会になって、会期も長いゾ!

3常任委員会報告

市議会では、委員会中心主義で議案審査・所管事項調査など活動をしています。

産業建設常任委員会

議案４件を審議。
宇和町公共下水道工事現場、民宿ふるさと他を視察。

○林業関連新規補助事業の創設を

林家の経営は年ごとに厳しさを増しています。その経営は各種補助事業により何とか維持されている状況です。

森林の公益的機能維持の観点からも、新規事業の創設を検討されるよう強く要望をしました。

○「合併記念事業」大相撲巡業の成功を

平成17年10月29日、野村町乙亥の里において大相撲秋巡業が開催されます。

現時点で決定されている入場料金の設定には割高感がある。巡業の成功に向け、料金設定の再検討をされるよう、また関係者の宿泊に市の保有施設利用を要望しました。

○宿泊施設の積極的なＰＲを

市内宿泊施設の現地調査を行なったところ、いずれも設備は大変充実しているものの十分な活用がなされてない。稼働率を上げるために市観光パンフレットを作成しＰＲに努めるなど営業活動に力を注がれたい。



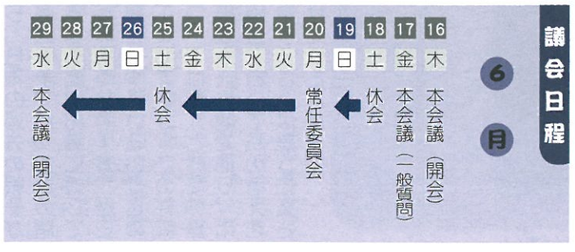
宇和町公共下水道工事現場

○第３セクター施設のさらなるテコ入れを

各施設とも、経営内容の見直しに努力しているようだが、今一つ成果が上がっていない。市としても早い段階で様々な角度から分析し、さらなる改善に努めてもらいたい。



あけはまシーサイドサンパーク



厚生常任委員会

６月20日から３日間、議案７件及び請願１件を審議。

○西予市健康保養地中核施設の設置及び管理に関する条例

本施設は城川町・宝泉坊温泉に接して建設中で、11月にはオープンの予定ですが、将来の運営計画根拠等を確認しました。現在の施設は完成後、廃止するとの事です。

○西予市墓地設置及び管理条例の改正

これは三瓶町蔵貫に設けた17区画の墓地を追加するものです。永代使用料は１㎡当たり３万９千円以内となっていますが、墓地造成費等から妥当としました。なお、個人での墓地新設は違法行為となるため、広報等で周知徹底するよう要請しました。

○合併前の城川町区域の医師給与の特例の廃止

５月に医師の退任交替があり、通常の給与体系に戻すものです。

○一般会計補正予算

今回の補正は４月の人事異動に伴う給与費等の調整が大部分でしたが、主なものとしては、保育料負担金の増額、介護保険相談員養成研修費（サービス利用者の相談に応じられる人を５人程度養成するもの）、健康保養地中核施設の備品購入費等です。

○国保特別会計補正予算

人事異動、医師の交替による人件費調整が主なもの。

○老人保健特別会計補正予算

人件費の調整及び16年度の事業確定によるもの。



高山保育所

○介護保険特別会計補正予算

人件費の調整が主なものですが、安心の家利用の給付費が計上されました。

安心のホームは現在１ヶ所ですが、市の負担も比較的少なくて済むため今後検討していきたいとの事です。ちなみに現在グループホームの年度は計画は市内に８ヶ所あり、平成16年度はグループホームへの支出が前年比2.3倍でした。



西部衛生センター

請願

じん肺患者の救済とトンネルじん肺根絶を求めるものと決意見書の提出について採択すべきものと決しました。

審議しました７議案については現地調査も行った上、全て原案可決しました。

総務常任委員会

議案２件、陳情２件を審議。

○西予市火災予防条例の一部改正

本条例は近々普及が見込まれている「燃料電池発電設備」の普及にあたり、条例の整備が必要となったものです。

消防本部から再々度の説明を求めた後、原案どおり可決しました。

○平成17年度西予市一般会計補正予算

所管の部・課ごとに詳細な説明を受けた後、質疑応答がなされ、審査した結果、原案のとおり可決。次の意見がでました。

① 財政が逼迫している状況であることは理解できるが、市民の同意が得られ、市民と行政が一体となって取り組めるような行財政改革案を取りまとめ、推進されたい。
② 財政難といいながら物品購入にあたり、必要以上にグレードの高い物品を購入してはいないか注意されたい。
③ 宇和先哲記念館の外観等の改修についても柔軟に対応されたい。将来市全域の“先哲記念館”としての役割をはたす方向も検討を。
④ 職員の「あいさつ」が住民に対して、常に笑顔で対応できるような職員教育に努められたい。
⑤ 学校教育施設等の修繕については、原材料費や需用費によってＰＴＡ会員や地域の人材を活用するなど柔軟に対応されたい。

陳情

全会一致で採択。

・陳情第１号「地方六団体改革案の早期実現に関する意見書の提出について」
・陳情第２号「地方議会制度の充実強化に関する意見書の提出について」

○所管事項に係る現地調査

６月21日～23日にかけて、市内小学校（18校）、文化施設・集会所等（15ヶ所）、消防署（２署）を巡回しました。

特に学校施設に関しては、旧町間でかなりの格差が生じていることを実感しました。今後は、公平な審査のもとで優先順位をつけること、また必要不可欠な修繕箇所等は、財政難でも予算計上をするよう、要請しました。



朝日文楽



笠置古墳

6議員が西予市のまちづくりに注文

一般質問

これからが西予市の試練に！



元親　孝志　議員

問　東京裁判を振り返ってみたときに、A級戦犯として処刑された人々が、本当にA級戦犯であったかどうか。インドのパール判事の意見のように、A級戦犯として裁かれた人々は、時としてアメリカの意図的、政治的A級戦犯であったような気がする。そうだとすれば戦争加害者というより、むしろ被害者なのかもしれない。そのように考えた時に、靖国神社問題はいったいどうなるのか。

　政教分離とはいえ、日本人として、総理の靖国神社参拝についてどのように考えておられるのか。

　今回の中学校歴史教科書の採択については、特に東京都と愛媛県においては、過去のいきさつもあり、相当に注目される。教科書採択については、

教科書選定市長はどう考える
中立・公正の視点からノーコメント

これから教科用図書選定審議会で検討されるわけだが、その前に「新しい歴史教科書をつくる会」が主張する、日本国民の『自虐史観』に対して市長はどのような考えを持たれているのか。

　東京裁判の結果、日本がかって戦ってきた、日清戦争、日露戦争、満州事変、第2次世界大戦に至るすべての戦いは、植民地政策のための侵略戦争であったと、中国、韓国人はもとより、日本人すらそう思っている人が多いと思うが、市長はどのような歴史認識を持っているのか。

市長　中学校歴史教科書の採択については、法律に基づき教育委員会が決定することになっています。

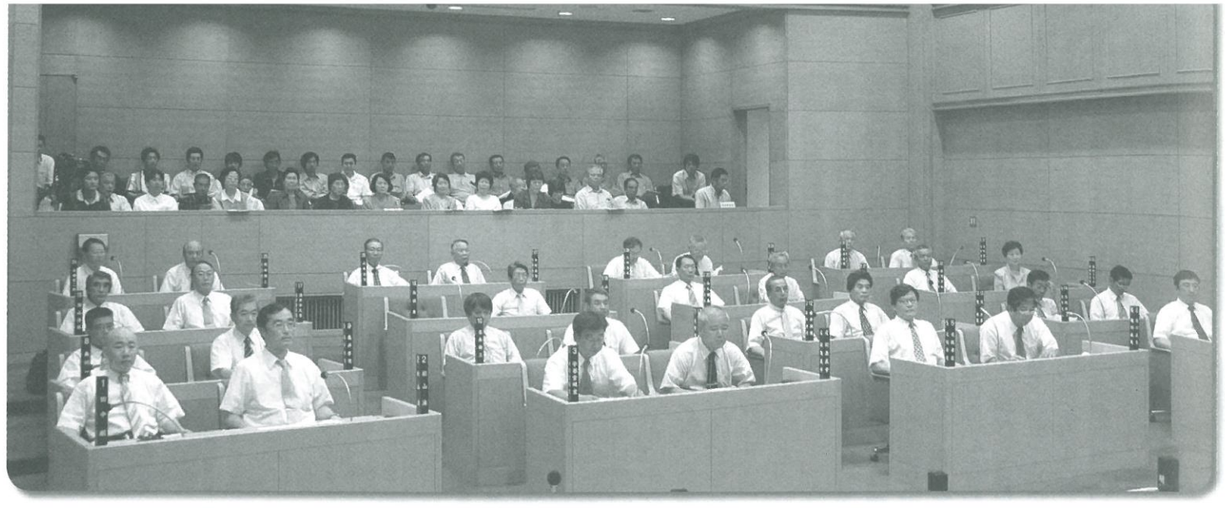
　教育は中立・公正を基本とするもので、教育委員会の公正な判断のもと採択されるものです。

　質問の中で、東京裁判にかかる靖国神社参拝問題、新しい歴史教科書をつくる会の日本国民の自虐史観に関することが



数ある歴史教科書の中から西予市はどれを選ぶのか

ら、日本の過去の戦争が侵略戦争であったとの諸外国の歴史認識に対してどのような考え方、歴史観を持っているのかとのご質問ですが、この件については個人としての歴史観や人生観であり、市議会において私の考えを述べることは差し控えさせていただきたい。



いっぱいの傍聴者に議員もやる気満々!!



浅野　豊重　議員

意識改革について
市の考えを問う

問　「改革の第一は、覚醒である。」と患者の立場で改革し、赤字を脱却した病院の経営方法がある。

一　患者の立場で職員の言動、施設、備品の切り替え

二　部局の上下の廃止

三　職種の特異性の廃止。全員に勤務前清掃

助役　大変参考になります。職員の育成は重要であり市においても、職場外研修等を通じて接遇マナーの向上を図り市民のニーズに応えて参ります。

勧奨退職は慎重に

問　西予市においても勧奨退職者を募ろうとしている。合併協で、「定年退職者の半数以内を採用し、十年を目途に適正数にする。」とある。

　勧奨退職よりも、全ての職員、議員の給与を削減し、歳出抑制をすべきではないか。

助役　早期退職募集は、強制ではなく、優遇措置による希望退職です。旧町の給与格差も、作業中で、十八年度実施予定。

集落営農に移す
指導と支援を

問　少子高齢化は福祉医療に止まらず農業にも影響を及ぼしている。条件不利地域は、休耕地が増えている。これの対応は集落営農より他はない。

　行政として取組を急ぎ、中山間地域直接支払い制度を併用すべきだ。

職員意識改革を進めよ
前例主義でなく考える職員に

産業部長　土地利用型農業では地域の話合いに基づき集落を基礎とした営農組織や法人化を図ります。新直接支払制度の多面的機能を図るため、担い手の育成、営農組織の強化に努力します。



いきいきと競技中

老年（老人）を改め
熟年に

問　老人という言葉は意欲をそぐ言葉に思える。

「人間は生涯勉強だ。」と言う時代に年を重ねたから老人とは言わせたくない。まだまだ自分がやらねばの気持ちを持たすために本市では、「老」の字を「熟」にし、「老人クラブ」は、「熟年クラブ」にしてはどうか。

福祉部長　現在本市では老人福祉法に基づいて行っています。意識付けとして重要であり、今後は諸事業もそのような意識で推進していきたいと考えます。

救命機器ＡＥＤの取組は
９割の隊員が使える体制



山本　安男　議員

問　救命機器ＡＥＤについてお伺いします。各地域でＡＥＤ（自動体外式除細動器）の公共施設や救急車への設置が進んでいると聞いています。一般市民にも使用が解禁になっていますが、西予市消防本部での今後の取り組みについて伺いたい。

消防長　心臓突然死は、心室細動という重症の不整脈によって心臓の筋肉が細かく収縮し血流が止まり、急速に死に至る大変危険な状態となります。

唯一の治療法は電気ショックによる除細動であり、現在、救急隊員・一般消防職員にも講習を進め、９割の職員が使用できる体制を整備しました。今年度ＡＥＤを１台購入し配備を行い、今後も全救急車に整備を行うと共に全職員に講習を計画中です。また、一般市民へのＡＥＤ講習を含めた救命講習を計画し推進していきます。

問　今後の西予市における汚水環境整備は、合併浄化槽の公設への取り組みに重点を置くべきではないか。設置費も安く災害にも強い工法であり、公共下水に比べて市の負担が少なく、今各地で見直されている。

建設部長　合併浄化槽の補助事業で本市は、１、７２２基を設置しています。又、汚水施設の整備はそれぞれの特性に応じ効率的適正な整備が重要です。合併浄化槽は家屋密度の低い集落に適し、公共下水道等の集合処理は家屋密度の高い市街地など、狭い家屋に対しても水洗化する事ができます。

平成16年3月「第2次愛媛県全県域下水道化基本構想」を策定し各事業が円滑にスタートしております。現在、公共下水道1箇所、農業集落排水2箇所整備中です。合併浄化槽の「浄化槽市町村整備推進事業」についても国や県の動向を見据えて検討を重ねていきます。



救命機器ＡＥＤ



酒井宇之吉　議員

問　合併後一年経ったが今、どのようなことに「グローバルに考え、ローカルに実践」されたのか、また今後どのようなことに対して「グローバルに考え、ローカルに実践」されるつもりか伺いたい。

市長　地域主義に陥らずに、全市的に物事を考え、地域を主体に実践していく考えです。また逆の発想でローカルに実践に視点を置くことがグローバルに実践することにもなり、地域の個性を尊重することにつながるもので、この実践理論は長いスパンで考えなくてはなりません。実践例としましては、明浜町の医療問題の解消をはじめ、西予市産材の木材住宅建設促進事業、惣川・大野ヶ原・川津南、野井川に設置される衛星携帯電話の件などがあります。また今後は、合併市町村周辺地域振興補助金制度を利用した地域振興を図ったり、現在検討中の産業創造戦略会議、生活交通システムを市としてどうあるべきかを考え、それぞれの地域の実情に照らし合わせて実践していくなど、総合的な見地で考えているところです。

「光のあたらないところへ光があたる政治」を

問　「光があたらないところへ光があたる政治」を行うための政策はいかにあるべきか？

市長　市町村合併は複数の自治体が一つになり、その活動を統合していくことですから、旧町の歴史を重んじ、地域の個性と自治の実践を生かし、工夫をしながら、それぞれの地域を均衡ある発展をさせなければなりません。

そのために、隅々まで行き渡る行政運営、ローカルに実践する行政運営が重要になってくるのだと思っております。

また一日も早く旧町意識を払拭して、市民の一円融和を図り、新市の体制固めをすることも重要なことであると認識しております。

グローバルに考えローカルに実践とは
小異を捨て大同につく



産業創造戦略会議



松山　清　議員

問　ゆとり教育の名の下に、「生きる力」を最優先にした「教育の後退」が、技術開発や先端医療の進歩、経済システム改革などを世界の国々の変化に日本がついて行けない体質にしてしまっているのではないか。

西予市において、日本の将来のためにもっと今の子供たちを奮い立たせるような特徴ある教育方針を持つという考えはないか。

また、教育の中で、科学者や文化人など自分たちの将来像となる人と触れる事業はできないか。

教育長　学校の独自性を生かしながら、長い目で「ゆとり教育」を進め、「生きる力」を育てることが重要です。市独自の方針は次のステップと考えます。

中央の文化に触れる機会は、えひめこどものための音楽会移動公演や衣笠祥雄氏の教育講演会などを計画し、豊かな情操を育成していきたいと考えます。

西予市独自の教育方針を
生きる力の次の課題

地域通貨とボランティアのポイント制度の導入は

問　少子化が急激に進み、若年層が高齢者を支えるという構造は今や終局段階に来ている状況だ。シルバーの世代を中心とした福祉ボランティアとその対価として支払われる地域通貨のシステムの導入はできないか。

これからの時代は税に頼るのでなくアイディアや制度を駆使しなければいけない。このようなシステムは今後将来必ず必要性があり、地域発展のカンフル財源となると思われる。

福祉部長　地域通貨の活用は、地域福祉の推進を図っていく手段として非常に有効な方法であります。県も地域通貨モデル事業を立ち上げて推進しており、今後住民のニーズ等を調べながら対応します。



パソコン授業に取り組む宇和町小

もっと市民参加のホームページを

問　西予市のホームページは一方的な伝達や画一的な業者任せという印象をもち、温かさや手作り、あるいは、行政職員が考えていることなどが、伝わってこない。市民の声など、反映できないか。

行政の生の声が伝わってこない、簡単に情報を発信できる手段であるのにそのメリットを生かし切れてないなどの問題点があるのではないか。

総務部長　現状の問題点・要望等に応えるため、全体のリニューアルを計画します。すべての人にわかりやすいホームページの作成に努力します。



リニューアルされる西予市ＨＰ

「トゥファ」をどう保護する
文化財指定を早急に対応



岡山　清秋　議員

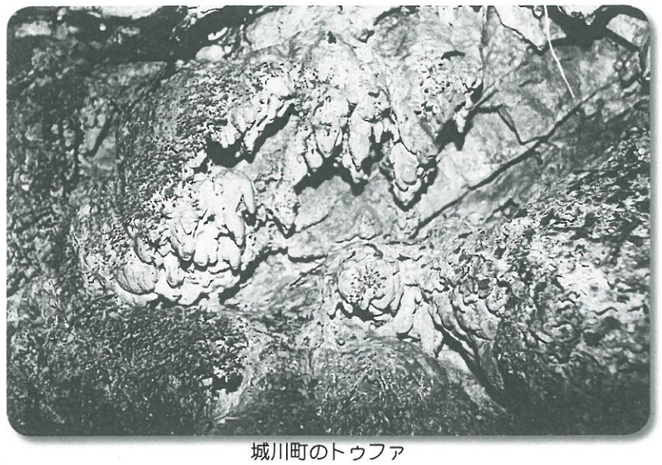
問　「トゥファ」は西予市にとって大変貴重な自然遺産である。一日も早く文化財等の指定にされたい。今後市としてどのようにこの「トゥファ」を紹介・活用し、保護してゆくのか。

教育部長　一　天然記念物の指定を行う。
二　周辺地域の皆さんや土地所有者の方々と行政が一体となった取り組みを行う。
三　学習や研究の場として活用を図る。
　自然と調和した散策コースの整備等も検討してゆきたい。機会をとらえて広島大学の狩野先生の講演会なども企画、文化財の指定、登録を早急に行いたい。

消防用水利防火水槽の整備状況と今後の施設整備計画は

問　市全体から見ても水利水源が豊かな地域は一部分であって、大部分は肱川上流の河川・伏流水に頼らねばならないのが現状であるが、中山間地域の人家が点在する生活環境等非常に厳しい状況にある所は、防火水槽等に頼る事になる。
　市民の生命財産を保護する上で重要な消防用施設であり、今後の整備計画、現段階での要望はどれくらいあるか。

消防長　西予市消防団では、現在18台のポンプ自動車、77台の小型動力ポンプ積載車、101台の小型ポンプを所有し、1、825名の消防団員でもって消防活動を行っています。消防水利は、市全体で消防栓320箇所・防火水槽432基・井戸や河川プール・池など298箇所を整備して対応している。



城川町のトゥファ

市民の声

西予市の環境について

三瓶町　仲川　幸子



EM活性液をつくる

「環境を守る」というより「豊かな環境にもどす」と考えるべきです。
　ゴミを出さない工夫は大切ですが、もっとも重要なのは、商品を作る側に責任をもとめる事だと思います。作る側に規制はなく、なぜ市民にだけ出す側の責任を問われるのでしょうか。
　また、環境を守る商品には助成をして、安く広められる様にしてほしいです。
　例えば、森林組合の六角ブロックや廃油石ケン、EM石ケン等、市民がたくさん使える環境を整えていただきたいです。
　その他EMの活成液を作る道具を三瓶にもおく。生ゴミ処理の勉強会。まだ使える粗大ゴミをほしい人へ使いまわすようなシステムをつくる。
　西予市は、いつまでも豊かな緑にかこまれたまちであってほしい、新しいものを建てずに古いものを活かす行政であってほしいと思っています。



EM菌をプールに入れる

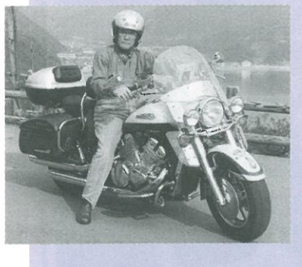
Relay（リレー）
議員紹介



合併を実あるものに！

三好　幸夫　議員

　5町合併から一年二ヶ月を経て巷から聞こえてくるのは不安な声ばかりであり、議員として責任を痛感する次第です。
　既に幾度となく全市を巡り思いますのは5町それぞれに文化があるという事です。又、どの地域も自主財源は少なく、多くを国、県に頼りながらも上手に運営を図り、立派な施設等を造ってきたという事です。それらは正に財産であり先輩方に感謝するものです。しかし16年、17年三位一体改革は厳しさを増し、それら財産にさえ批判の声が聞かれる事もあります。
　昨年からは指定管理者制度もできて逐次改善されつつありますが、負担が直ちに無くなるものでもありません。
　私は行政の考え方として全てを所与の条件として受け止め、最善を尽くすという立場でお願いしたいと考えております。
　不満を唱えても始まらないのです。それぞれの地域でそれぞれ必要があって造られたのです。5町合併の成否は、まず他の町を理解する所から始まると思います。
　今後の施策についても行政効率を追求するあまり中央主導で全てを進めるならば良い結果は得難いのではと思います。
　それだけに各総合支所にも力を発揮して頂きたいと願うものです。
　ともあれ、5町合併が成功であったと言われるよう努力して参りたいと思います。



「宇和海のぜんご」と愉快な仲間達

浅野　忠昭　議員

　このタイトルが何を意味するか、はて?? と思われていませんか。
　実は私のハンドルネームのことなのです。バイクで走ることが大好きで大型を購入するや、ロイヤルスターオーナーズクラブジャパン（通称ROCJ）に入会して、ツーリングを楽しんでいます。
　その会の仲間達は多種多様な職種の人間の集まりなのです。鉄工所の社長、エレベーター販売会社の社長、税関の所長、海運会社の社長、不動産業の社長等々、ユニークな計画を立てて、東は関東から西は九州鹿児島までをエリアに、年間15回程度のツーリングを実施しています。
　たとえば午前10時に阿蘇大観峰に集合後、国道57号線を熊本へ、熊本から松橋経由で天草五橋へといったルートを走行したりしています。その夜一同と会食をしながら雑談する一時が又格別な時間でもあります。私にとってその交流が大変社会勉強のこやしとなっているように感じています。
　と同時に走行中は無の境地になることが出来、ストレスの解消となっています。「よし、明日から又、頑張ろう」という活力が脈々と湧いてくるのです。
　とりとめのない文章となりましたが市民の皆様の負託にこたえていきたいと思っております。皆様方のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



『人にやさしいまちづくり』

浅野　泰義　議員

　私の子供の頃は、人の心は温かく貧しくても皆でかばい合い、助け合いながら一生懸命育てられてきました。今、望めば全て手に入る物の豊かな時代を迎える為に何を得、何を失って来たのか……。
　私は新しく誕生した西予市のまちづくりをこれまでの物の豊かさを得る為に失ってきたと思われる心の豊かさを最優先し、人にやさしい、明るく温かいまちづくりを目指します。
　戦後生まれた我々団塊世代は、2007年を境に大量に定年を迎えます。2005年版の「高齢者白書」では「世界のどの国もこれまで経験したことの無い本格的な高齢化社会が到来する」と述べられております。医療・介護・年金などの社会保障、高齢者の雇用など制度全般にわたって対応が迫られる事態です。
　65歳から69歳までの仕事の無い男性の4割近くが就業を希望しており、これから少子高齢社会のマイナス面ばかり強調しても始まりません。国、自治体、企業がともに高齢者の能力、経験を生かす道を探ることが大切と考えます。活力ある西予市をつくるため微力ではありますが頑張ってまいります。

プロフィール
【星座】天秤座
【血液型】B型
【住んでいるところ】三瓶町蔵貴浦
【身長】175センチ
【体重】普通ぐらい?
【趣味】釣り、ドライブ
【宝物】孫
【好きな言葉】念ずれば花開く
【好きなテレビ番組】世界ふしぎ発見、水戸黄門
【好きなスポーツ】野球
【夢】家内と二人手作りキャンピングカーで日本一周
【疑問に思っていること】・ウニの名産地は？　やっぱり北海道？
・関アジと岬アジどう違うの？

ゴミの減量化が西予市を変える時

特集　財政と環境

西予市議会では、増え続けるゴミ処理問題を今後どのように考えて行けば良いのか、先進地視察等を踏まえて検討をしてきました。年間約8億円の処理費用は、大切な市民の皆様の税金が、ゴミと共に灰になっています。仮に一割削減出来たとしたら一年間で8千万円を浮かすことが出来るのです。一割削減することは果たして大変なことでしょうか。先進地ではすでにその取り組みが始まっています。そのためには市民の皆様の理解と協力が必要です。ゴミ問題について正しく理解しあい、貴重な税金を有効に活用したいと考えています。サア始めましょう。ゴミのない社会づくりを!

急速に増え続ける家庭ゴミは、やがて地球の環境を変えてしまう。しかしその前にゴミ処理費用が、西予市の財政を逼迫させるであろう。消費は美徳の時代は終わった!!

何故今ゴミ問題なのですか

地球温暖化が言われ始めて久しくなりました。それを裏付けるかのように、地球のいたる所で、異常渇水とか大洪水、台風、ハリケーン等が多発しています。昨年は10個の台風が日本列島に接近あるいは上陸いたしました。

私たち一人一人のわずかな欲望が、取り返しのつかない地球にしようとしているのです。かけがえのないこの地球を未来の子供たちに、今まで以上に素晴らしい地球として残すことは、私たちの義務です。

私たちにとって何気ないゴミが、焼却処分することで地球温暖化を促進しています。

同時に焼却処分には莫大な行政負担が必要です。平成17年度概算予算の西予市のゴミ処理概算費用は約8億円です。これを少しでも減らすことが行政の仕事であり、議会の仕事であると思っています。

今からでも遅くありません。私たちに出来ることからすぐに始めましょう。


野村クリーンセンター

理解を深める為のキーワード

□　旧町の16年度ゴミ排出量　(t)

三瓶町	2,791
宇和町	4,935
明浜町	1,206
野村町	3,638
城川町	
合計	12,570

□　旧町の16年度ゴミ処理費用　(千円)

	三瓶 明浜	宇和	野村 城川
人口	13,421	18,099	15,376
処理費	228,472	271,229	169,531
一人当たり(円)	17,024	14,986	11,026

□　施設別処理費用

	野村処理施設	八幡浜処理施設
持込量	2,305トン	5,586トン
処理費用	80,250,820円	173,986,227円

★　現状の課題
- 分別品目の再検討による埋め立てゴミの発生抑制
- 生ゴミ処理機・EMぼかしによる生ゴミの堆肥化
- 分別品目及び収集回収の統一

☆　市民へのお願い
- **マイバックの持参でゴミ排出抑制**
- **ゴミ分別表に基づくゴミ分別の徹底**
- **ゴミ処理には多額の費用がかかるので、各家庭で出来ること、またしなければならないことをしっかり守って頂きたい。**

☆　今後の計画・方針
(1)　環境対策専門委員会による、西予市環境行政に関する調査研究・長期計画策定
(2)　環境委員による市民へのゴミ分別の理解と周知の徹底

ゴミ処理費と財政

平成16年度決算では、西予市のゴミ処理費用の総額は、市の職員の人件費等を除いて、約7億円かかっています。人件費は、一部他の仕事と重複しますので、正確な数字はつかめませんが、約1億前後の人件費が当然必要です。西予市の市民は約4万7千人ですので、8億円を4万7千人で割りますと、市民一人当たりのゴミ処理費用は、年間で約1万7千円になります。4人家族で7万円が焼却されているのです。


ゴミ0の研修

議会ではこの問題に対して、いくつかの提案をしてまいりました。

第1点目として、西予市のゴミ処理は野村クリーンセンターと八幡浜市環境センターとに分けて処理しています。野村の施設の耐用年数は設計上後5年。八幡浜市との契約は2012年。その間に新しく西予市全体の施設が必要になります。この問題をどう考えるのか。

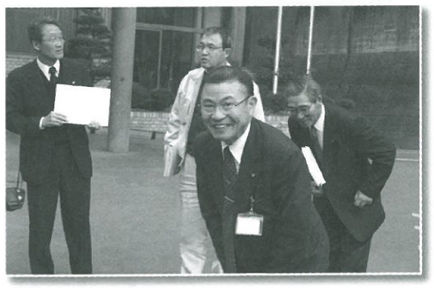
第2点目として、生ゴミを焼却処分するのはいかがなものか。基本的にはリサイクルすべきではないのか。

第3点目として、排出量をどう抑えて行くのか。1つには買い物には、自分用のレジ袋を持参する。2つ目には生ゴミは各家庭で処理する。

以上のように考えていけばいろいろな対策があるのではないかと提案してきました。

先進地に学べ(徳島県上勝町)

ゴミ問題に対する考え方として、おそらく日本一進んでいる自治体は、徳島県の上勝町でしょう。上勝町は「ゴミゼロ宣言」をいち早く行い全国の注目を集めています。


上勝町　笠松町長

町では徹底したゴミの分別を行い(35品目に分別)生ゴミは全戸に生ゴミ処理機を設置して100%堆肥化しています。やれば出来るということをここで学ぶことが出来ます。

レジ袋07年度にも有料化

環境省はスーパーの店頭などで無料配布されているレジ袋を有料化する方針を固めました。同省は次期通常国会に提出する容器包装リサイクル法(容リ法)改正案に有料化の制度を盛り込みます。施行は2007年度以降になる見込みです。

レジ袋は一人当たり年間300枚使っていると推定され、家庭から出るプラスチック製容器包装ゴミの中で占める割合が高い。買い物客が自分の袋を持参し、店頭での受け取りをどう抑えるかが課題です。杉並区は1枚あたり5円を課税する条例を制定したほか、買い物袋を持参した人を優遇する小売店も増えました。